

支援プログラム(放課後デイサービス併設児童発達支援)

- 法人(事業所)理念
 - ・児童の困りごと、生きづらさを少しでも穏やかなものにしていきます。
 - ・保護者に寄り添った支援をしていきます。
 - ・遊びを通じて、心を育み、心の成長と一緒に寄り添っていきます。
- 支援方針
 - ・他児童の関わりの中で、「遊び」・「活動」を通して「喜び」・「楽しい」・「できた」等の積み重ねが豊かな心を育みつつ、児童の個性を大切に一人一人に合わせた支援をしていきます。
 - ・保護者と両輪になって、児童の課題や問題に取り組んでいきます。
 - ・家・幼稚園・保育園以外の居場所として、安心して過ごせる環境を提供します。
- 営業時間 月～土 9:00～18:00
- 送迎 あり
- 健康・生活
 - ・身支度、手洗い、食事、衣服の着脱、排泄を身につける、活動中の水分補給・遊具の用意と片付け等、活動中の中で基本的生活動作の習得を取り入れていく。
 - ・健康状態の確認と必要な対応を行い、子どもの発達の特長や発達の過程に配慮し、小さなサインから心身の異変に気が付けるよう、きめ細やかな観察を行う。
- 運動・感覚
 - ・身体を動かす遊びを通して、感覚を統合していく力を高められるように支援する。
 - ・戸外活動を基本とし、自然に触れることによって、その季節ならではの気候を感じたりと五感を使って脳への様々な刺激を与える。そして自然の中で身体を使って動き、身体能力を高めたり危険の察知能力を身に付ける。
- 認知・行動
 - ・視角、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能を促す。
 - ・数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。
 - ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応をしていく。

- 言語・コミュニケーション
 - ・遊びや活動を通して、自分の気持ちを言葉で表現していく。
 - ・個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、他者と関心を共有する事物や話題に注意を向ける能力等のコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。
 - ・自分のできること、できないこと等自分の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整が出来るように関わっていく。
- 人間関係・社会性
 - ・スタッフと児童が一緒に行う遊びや活動を通して、信頼関係の基盤を築き、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。
 - ・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや活動に参加できるように支援する。
- 家族支援
 - ・保護者からの相談や悩みに対してのアドバイスをしたり面談を設けたりする。
 - ・保護者と密に連絡をとり、保護者の困り感に寄り添っていけるように配慮する。
 - ・送りの時間など保護者との対面の機会を利用して、保護者と子どもの情報共有を丁寧に行っていく。
- 移行支援
 - ・必要に応じて、幼稚園・学校への情報共有
 - ・サービス担当者会議等の出席
- 地域支援・地域連携
 - ・関係する児発支援事業所、相談支援事業所に様子を報告・情報提供連携を図る。
 - ・関係機関による会議
 - ・戸外活動を通して地域の人と挨拶をしたりコミュニケーションをとり、近隣の地域との関わりを大切にする。
- 職員の質の向上
 - ・事業所内研修(虐待防止・感染症・緊急対応及び応急処置等)
 - ・児発管研修等の参加
- 主な行事
 - 初詣・節分・夏場の水遊び・ハロウィン・クリスマス・季節のおやつ作り等